



Weekly News

龍ヶ崎中央ロータリークラブ

2011.11.18

No.00680

R I District 2820 CLUB 50504

会 長：城出鴻二郎

幹 事：横澤啓二

連絡先：TEL 0297-66-3258 FAX 0297-66-3280 <http://rcrc.web5.jp>

事務所：〒301-0032 茨城県龍ヶ崎市松葉 5-12-6

例会場：〒301-0857 茨城県龍ヶ崎市泉町 1592-77 (ザ・ゴルフクラブ竜ヶ崎)



本日のプログラム

【会員卓話】

馬場会員
職業奉仕委員会

次回のプログラム

【会員卓話】

横澤会員
職業奉仕委員会

11月の主な行事：ロータリー財団月間

第 679 回例会報告

点 鐘：城出鴻二郎会長

ロータリーソング：四つのテスト

ゲ ス ト：なし

ピ ジ タ ー：なし

会長報告：城出鴻二郎

■今週は非常に寒く感じるのは私だけでしょうか。11月は暖かいと聞いていましたが、以外に寒く、風等もはやり始めているようですから、皆さんご注意ください。



本日は少しプログラムが変わりまして、毎回次回ご期待の大好評の荒木先生の卓話をいただきます。

時間を十分とりたいと思います。

■そして、来週ですが、久々に馬場先生が例会にご出席いただけまして、卓話をいただくことになりました。乞うご期待です。

■日曜日から川上さんがグアムに行かれました、ご報告をお願いいたします。

■本日例会後理事会を開きますので、よろしく願いたします。

■来週、分区の会長幹事会が開かれます。GSE 等打ち合わせがあるようです。

幹事報告：横澤 啓二

■国際大会の案内が来ています。

■本日例会後理事会を開きます。よろしく願いたします。

■後ほど、川上国際法氏委員長さんから、



グアムのご報告をいただきます。地区から、バギオ便りが来ています。回覧いたします。

国際奉仕委員会：川上勉委員長

■2011年11月6日より9日にかけてグアムへ行って参りました。グアムサンライズロータリークラブ国際奉仕委員長坂元さんへクリ

スマスドロップ協賛金 500ドルと東日本大震災に対してお見舞金を頂いたお礼と事業報告を兼ねた目的です。

7日夜の会食に坂元さんを招いてお互いのクラブの状況を話し合いました。本年度サンライズクラブ会長は以前当クラブ例会にも出席頂



きました J.Bill Borja です。次年度会長は 10 周年事業でお世話になった Elmore Cotton とのことです。更におなじみの Michael Perrin がガバナー補佐をされるとのことでした。渡航目的がいろいろあったためにハードなスケジュールでしたが、2 日間にわたり交流をすることが出来、懇親を深めることが出来たと思います。次年度は姉妹クラブ更新の時期でもあるためサンライズクラブの意思も確認して参りました。

追伸 震災の話題でグアムの電気料金が 300 ドル/月（マイクさん宅）と聞いて驚きました。



■12月10日、苫小牧東 RC 会員 6 名がグアムを訪問予定。横山会員が現地でご合流し、米軍施設内においてクリスマスドロップの支援金贈呈と梱包作業を手伝うことになっています。

本日のプログラム（会員卓話）

「私のささやかな職業奉仕」

荒木友雄会員

■今日は、財団委員長としてのお願いと、鴻巣さんの代役としての卓話をさせていただきます。財団委員長としては、寄付のお願い、ただ一つで



す。目標は、お一人 160 ドルです。ロータリー活動の展開を支えるものです。よろしく、お願いします。卓話としては、大学を退いてからの、私のささやかな奉仕活動を報告してみたいと思います。その前にお配りしたコピーの説明をしたいと思います。

■説明：記事コピーの一つは、鹿児島島の裁判員裁判の報道記事で、死刑求刑に対して無罪判決が出された事件に関するものです。地元の「南日本新聞」から求められコメントしました。もう一つは、検察不祥事がきっかけで生じた、検察庁の特別捜査部の再編問題に関する読売と毎日のインタビュー記事です。ほかにも、足利事件や布川事件といった、再審裁判で無罪判決が出たケースでは、「事実認定の難しさ」について、コメントさせられ、裁判員裁判で、死刑求刑があったり、判決の出された際は、具体的事件があるたびに、「判決を出す立場に立つ者の味わう重圧について」、コメントを求められ、苦労して対応させられました。とりわけ、「死刑判決を出す際の重圧について」は、朝日テレビで、3 回にわたり放送されました。しかも、テレビでは、突然、準備する十分な余裕もなく(うち 1 回はゴルフの最中に)呼び出されて、カメラの前でしゃべらされたので、本当に戸惑いました。しかも、かなりの時間話したのですが、カットしてほしい部分が放送されたので、苦笑しながら見ざるを得ませんでした。

■卓話本題：ささやかな奉仕活動というのは、国選弁護の引き受けです。国から報酬が出るのですが、安くしかも手間もかかるので、暇な若手弁護士か、余裕のできた老弁護士が引き受けることが多いのです。私は、引き受け手の無い事件を東京で引き受けたのですが、9 ヶ月間苦労させられました。この事件は、外国人事件だったので、接見するには、通訳人を探して頼む必要があり、その通訳人費用も、当座は弁護人の方で立て替えなければならないので、手間がかかり資金も必要なので敬遠されています。刑事事件の国選弁護人の仕事は、民事のように法律的なアドバイスが主ではありません。もちろん、法的アドバイスもありますが、たとえば、仕事をしていて刑事事件への関与が疑われて逮捕され、接見禁止までされた被疑者の弁護人ですと、まずやることは、家族はもとより、仕事先等との連絡係です。弁護人は、色々とメッセージボーイを務めなけれ

ばなりません。また、差し入れや宅下げなどもあり、家族など関係者が居ないと、時には弁護人がその金銭を負担したり、肉体労働をさせたりします。よくテレビドラマで、弁護士が真犯人を探すことをしていますが、私も、ささやかながら、そのようなこともした経験があります。私が弁護を担当した被疑者が、「自分は、他の者のため犯罪に巻き込まれたにすぎない。真犯人から話を聞いてくれ」と言われ、未逮捕の真犯人の在り処を探し出して、警察に通報して逮捕させ、最終的に、被疑者を釈放させたことがあります。

刑事事件では、被害者との示談の有無が、刑責の軽重を決めることが多いのですが、そのため、示談交渉は弁護人の大きな仕事です。苦心して示談が成立したのに、当初あると言っていた示談用の資金が、実は無くなっていったなんていう時は、弁護人が立て替えざるを得ないこともあります。報酬を得る仕事というより、身銭を切った奉仕になってしまうことがあります。被疑者は、不安のためか、頻りに接見に来てくれと要求します。留置をしている警察も、被疑者に頼まれるとすぐ連絡してきます。これなら弁護活動として納得しますが、時は、それが下らない用事なこともあり、「おれは、お前らの下男か」と怒ってしまうこともあります。でも、彼らにとっては、最後のすがる杭なのでしょう。まあ何とか、頼りがいのある、流れに逆らって立つ太い杭のような存在になろうと努力しております。

本日出席状況

会 員	20 名	出席率	60.00%
出 席 者	9 名		
出席免除者 (定款第9条3節a)	2 名	亀尾会員	吉澤会員
	1 名	馬場会員	
Make-up	3 名	小林、大竹、椎塚会員	

ニコニコボックス（目標額 600,000 円）

本日 5 件 9,000 円（本年度累計 209,000 円）

- 荒木会員：わざわざソバを用意していただき感激です。今日は 11 月 11 日、私の車のナンバーです。
- 海老原会員：韓国では、今大学受験で大変です。パトカーや白バイが受験生の応援をしています。
- 亀尾会員：海老原さんに面倒を見て頂きましたありがとうございます。
- 米島会員：・・・・・・
- 横山会員：事務所にも暖房が入りました。

例会の欠席は、水曜日 AM:10:00 までに川上副 SAA TEL 090-3497-0383 に連絡して下さい。